

UDC 621.643:629.12.06

F 7335

JIS

船 用 ホ ー ス 金 物

JIS F 7335-1996

(2002 確認)

平成 8 年 12 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 29. 3.26 改正：平成 8.12.25

官 報 公 示：平成 9.1.17

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 齋藤 隆一郎）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（〒100 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

船用ホース金物

F 7335-1996

Shipbuilding—Hose connections and fittings

1. 適用範囲 この規格は、船に使用するホースの継手元金物、継手及び筒先並びに国際陸上施設連結金物(以下、ホース金物という。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 0205	メートル並目ねじ
JIS B 0207	メートル細目ねじ
JIS B 2240	銅合金製管フランジ通則
JIS F 7102	船舶機関部管系用ガスケット及びパッキン使用基準
JIS F 7387	船用青銅16Kコック
JIS F 7400	船用弁及びコックの検査通則
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材
JIS G 3452	配管用炭素鋼鋼管
JIS H 3100	銅及び銅合金の板及び条
JIS H 3250	銅及び銅合金棒
JIS H 3260	銅及び銅合金線
JIS H 3270	ベリリウム銅、りん青銅及び洋白の棒及び線
JIS H 5111	青銅鋳物
JIS K 6332	空気用ゴムホース(エアーホース)

2. 種類 ホース金物の種類は、次の表1のとおりとする。

表1

種類	呼び径	呼び圧力 K	使用流体	略号			適用 ホース	用途
				継手元金物	ホース継手	筒先		
メタルホース 金物	15	5	飽和蒸気	FHR515	FHTM15	FHZV15	5/8メタル ホース	海水吸込口、ボイラ掃除 及びソーダ加熱用
		10		FHR1015				
ゴムホース 金物	15	5	空気	FHR515	FHT15	FHZC15	5/8ゴム ホース	海水吸込口、ボイラ及び 機器掃除用並びにエアモ ータ用
		10		FHR1015				
	25	5		FHR525	FHT25	—	1ゴム ホース	
		10		FHR1025				
帆布ホース 金物	40	5	水	FHR540	FHT40	FHZ 40×12 40×16	1½帆布 ホース	消防、甲板洗浄、水移送、 ボイラ水落とし用など
		10		FHR1040				
	50	5		FHR550	FHT50	FHZ 50×20	2帆布 ホース	
		10		FHR1050				
	65	10		FHR1065	FHT65	FHZ 65×20	2½帆布 ホース	
国際陸上施設 連結金物	65	10	FHK65			—	国際陸上施設連結用	

3. 構造、形状及び寸法 ホース金物の構造、形状及び寸法は、付図1～4のとおりとする。

4. 材料 ホース金物の材料は、原則として付図1～4による。

5. 検査 ホース金物の検査は、JIS F 7400の規定によって、次の(1)～(5)について行う。

(1) 材料検査

(2) 外観検査

(3) 寸法検査

(4) 組立検査

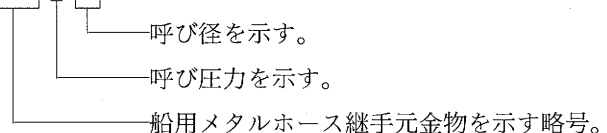
(5) 耐圧検査 次の試験圧力で行う。

(a) 継手元金物及び国際陸上施設連結金物は、組立て後呼び圧力5Kのものは0.75 MPa、呼び圧力10Kのものは1.5 MPa。

(b) ホース継手及び筒先は、組立て後メタルホース用及びゴムホース用は1.5 MPa、帆布ホース用は0.75 MPa。

6. 製品の呼び方 ホース金物の呼び方は、規格の名称若しくはその略号又は規格番号並びに呼び圧力及び呼び径による。

例1. 船用5K-15メタルホース継手元金物若しくはFHR 5 15又はJIS F 7335-5K-15R



- 例2. 船用5K-15メタルホース継手若しくはFHTM 5 15又はJIS F 7335-5K-15TM
└──船用メタルホース継手を示す略号。
- 例3. 船用5K-15メタルホース筒先若しくはFHZV 5 15又はJIS F 7335-5K-15ZV
└──船用メタルホース筒先を示す略号。
- 例4. 船用国際陸上施設連結金物若しくはFHK 65又はJIS F 7335-65HK
└──船用国際陸上施設連結金物を示す略号。

7. 表示 継手元金物及び帆布ホース筒先の表面に、次の事項を表示する。

(1) 呼び径 継手元金物には呼び圧力も表示する。

例1. 40×12帆布ホース筒先の場合 40×12

例2. 5K-40継手元金物の場合 5K-40

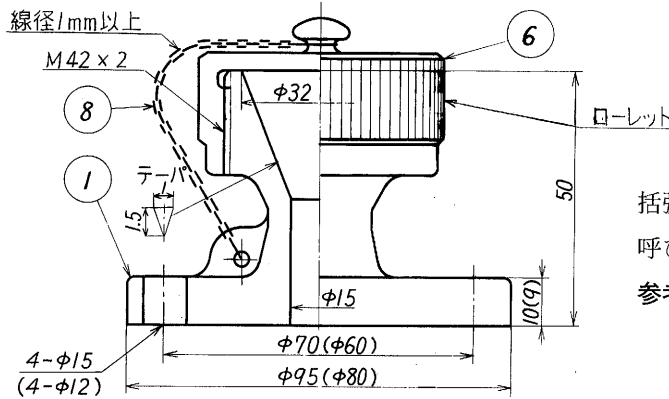
(2) 製造業者名又はその略号

(3) 製造年又はその略号

付図1 呼び径15ホース金物

単位 mm

継手元金物

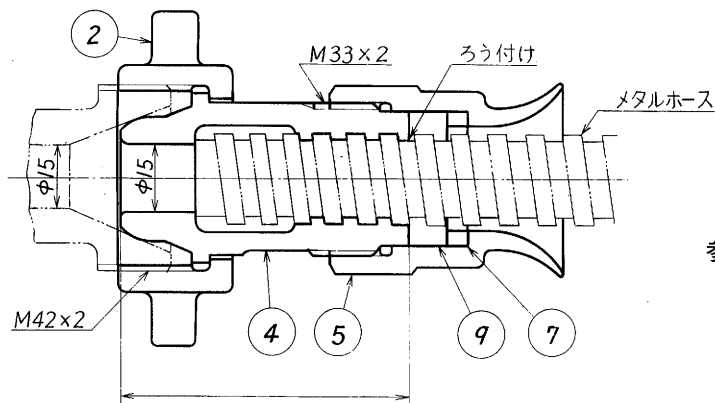


括弧内の寸法及び計算質量は、呼び圧力5K用を示す。

参考 計算質量1.09 kg (0.91 kg)

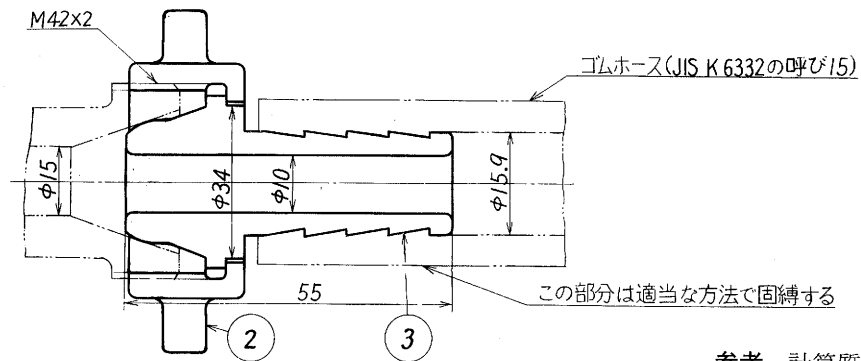
フランジのボルト穴は、鎖取り付け部中心に振分けとする。

メタルホース継手



参考 計算質量0.72 kg

ゴムホース継手



参考 計算質量0.33 kg

部品番号	部品名称	材料	部品番号	部品名称	材料
1	元金物	JIS H 5111のBC6	7	はめ輪	JIS H 3250のC3771BD
2	継手ナット		8	鎖	JIS H 3260のC2600W
3	ニップル		9	パッキン	石綿
4	ニップル				
5	ユニオンナット				
6	キャップ				

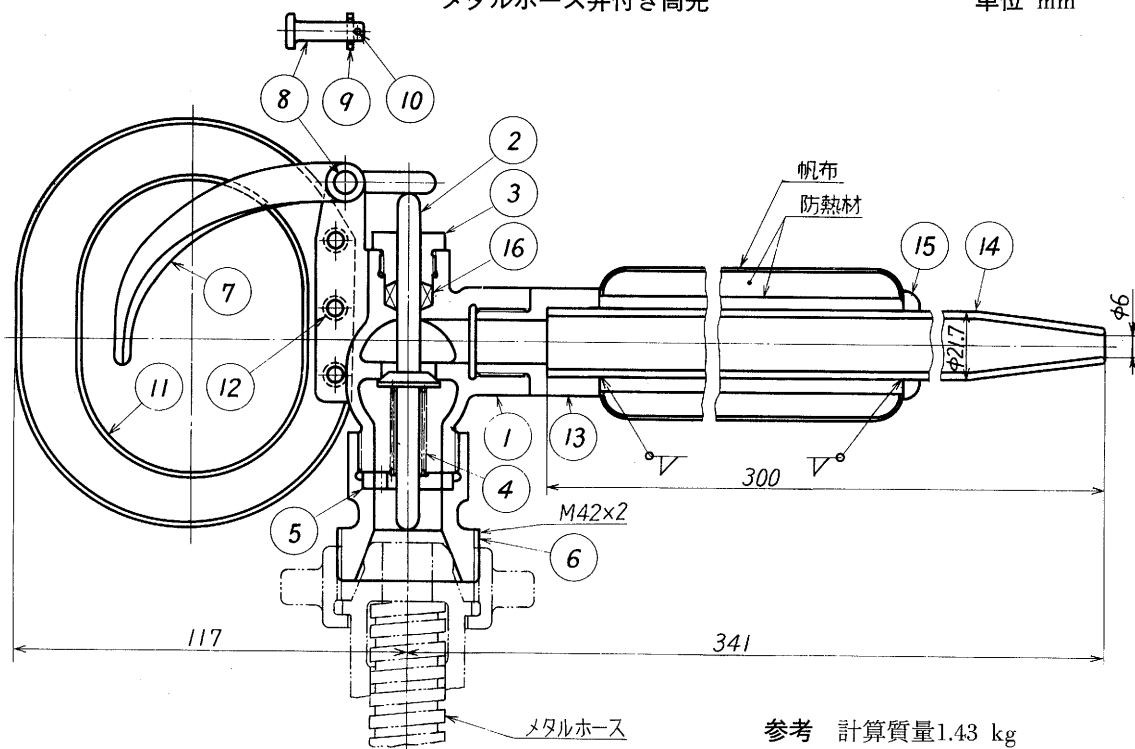
備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。ただし、呼び圧力10K用の厚さtは、これによらない。

2. ねじは、JIS B 0207の規定による。

付図1 (続き)

メタルホース弁付き筒先

単位 mm



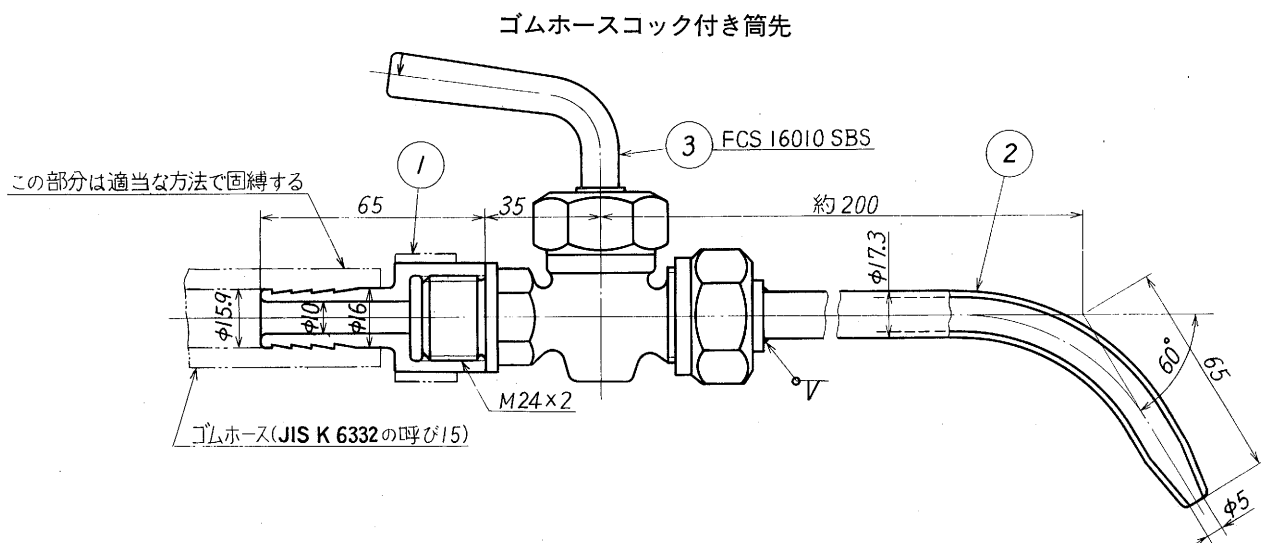
参考 計算質量1.43 kg

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	弁体	JIS H 3250のC3771BD
3	パッキン押さえ	
4	ばね	JIS H 3270のC5191W
5	ばね受け	JIS H 3250のC3771BD
6	ねじ継手	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD
7	引き金	JIS H 5111のBC6
8	ピン	JIS G 3101のSS400
9	座金	
10	割りピン	JIS H 3260のC2600W
11	ハンドル	JIS H 3100のC2600P
12	リベット	JIS H 3250のC3771BD
13	チップ結合金物	JIS G 3101のSS400
14	チップ	JIS G 3452のSGP
15	当て金	JIS G 3101のSS400
16	パッキン	石綿

備考 ねじは、JIS B 0207の規定による。

付図1 (続き)

単位 mm



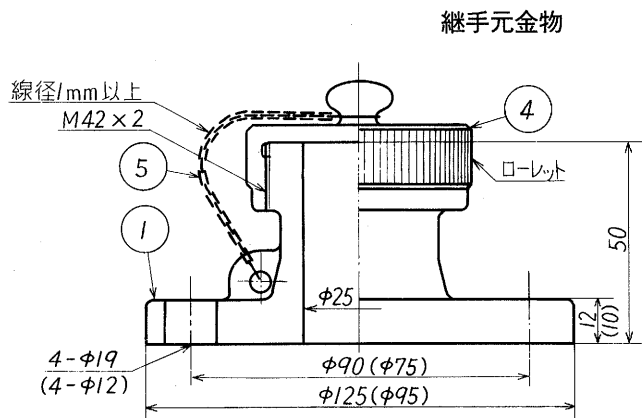
参考 計算質量1.13 kg

部品番号	部品名称	材料
1	ねじ継手	JIS G 3101のSS400
2	チップ	JIS G 3452のSGP
3	コック	JIS F 7387の規定による。

備考 ねじは、JIS B 0207の規定による。

付図2 呼び径25ホース金物

単位 mm

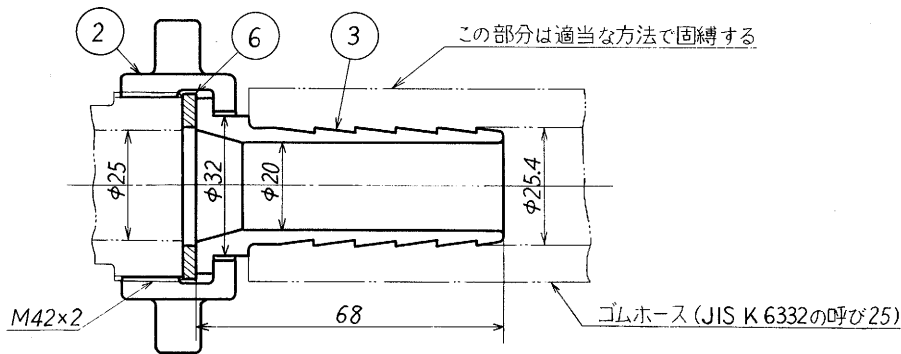


括弧内の寸法及び計算質量は、呼び圧力5K用を示す。

参考 計算質量1.55 kg(0.96 kg)

フランジのボルト穴は、鎖取付部中心に振分けとする。

ゴムホース継手

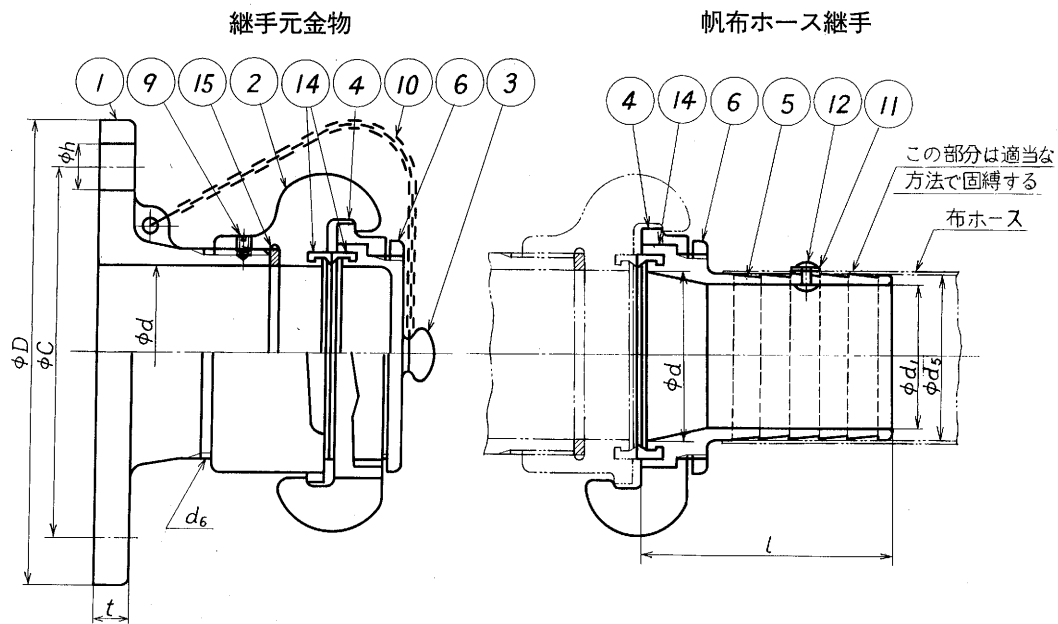


部品番号	部品名称	材料
1	元金物	JIS H 5111のBC6
2	継手ナット	
3	ニップル	
4	キャップ	
5	鎖	JIS H 3260のC2600W
6	ガスケット	合成ゴム

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。ただし、呼び圧力10K用の厚さtは、これによらない。

2. ねじは、JIS B 0207の規定による。

付図3 呼び径40, 50及び65ホース金物



フランジのボルト穴は、鎖取付部中心に振分けとする。

単位 mm

呼び径	呼び圧力	継手元金物								帆布ホース継手				
		フランジ							ねじ の呼び d_6	参考 計算 質量 kg	d_1	d_5	l	参考 計算 質量 (kg)
		ボルト穴				ボルト のねじ の呼び	t							
		中心円 の径 C	数	h										
40	5	40	120	95	4	15	M12	12	M52×2	1.94	31	37	64	0.43
	10		140	105	4	19	M16	14	M52×2	2.86				
50	5	50	130	105	4	15	M12	14	M64×2	2.29	43	49	76	0.64
	10		155	120	4	19	M16	14	M64×2	3.26				
65	10	65	175	140	4	19	M16	14	M80×2	4.50	56	62	95	1.03

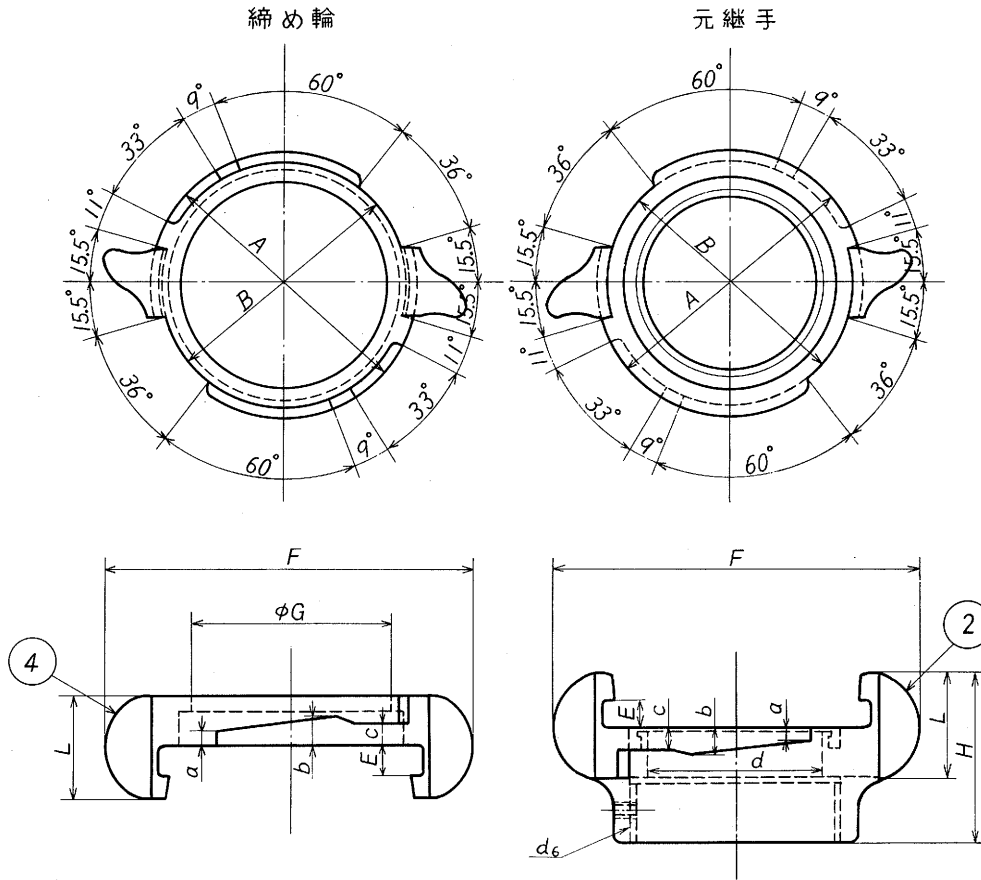
備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。ただし、呼び圧力10K用の厚さ t は、これによらない。

2. d_6 部のねじは、JIS B 0207の規定による。

部品番号	部品名称	材料	部品番号	部品名称	材料
1	元金物	JIS H 5111のBC6	9	止め小ねじ	JIS H 3260のC2700W
2	元継手		10	鎖	JIS H 3260のC2600W
3	キャップ		11	座金	JIS H 3100のC1100P
4	締め輪		12	丸皿リベット	JIS H 3250のC1100BD
5	ホース端金具		14	ガスケット	合成ゴム
6	止め輪		15	ガスケット	JIS F 7102の規定による。

付図3 (続き)

帆布ホース継手部詳細



単位 mm

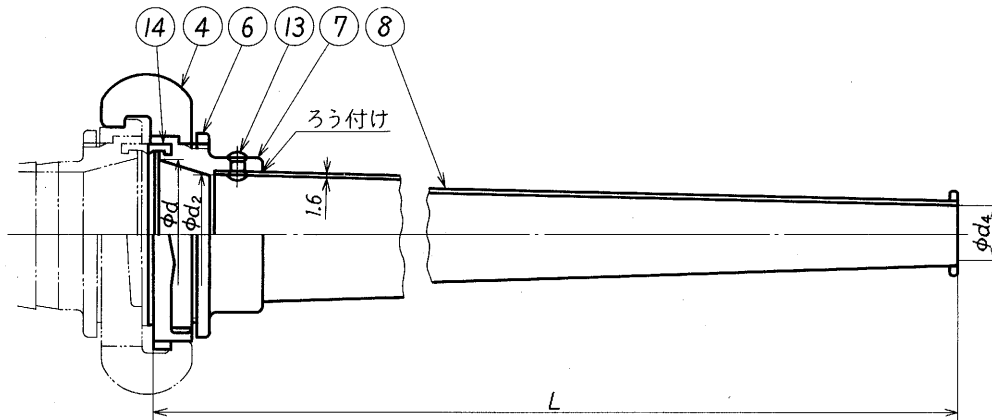
呼び径	元継手及び締め輪											
	<i>d</i>	<i>A</i>	<i>B</i>	<i>E</i>	<i>F</i>	<i>G</i>	<i>H</i>	<i>L</i>	<i>a</i>	<i>b</i>	<i>c</i>	ねじの呼び <i>d₆</i>
40	40	67	60	7.8	90	48.5	48	28	3.5	6	5	M52×2
50	50	80	72	9.3	110	60.5	56	34	5	7.5	6.5	M64×2
65	65	99	90	10.3	135	75.5	63	38	5.5	9	7.5	M80×2

備考 *d₆*部のねじは、JIS B 0207の規定による。

付図3 (続き)

単位 mm

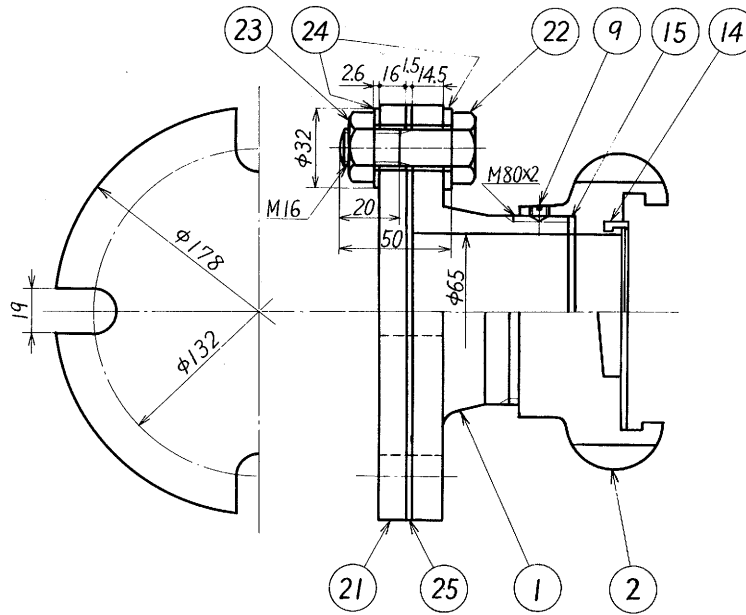
帆布ホース筒先(呼び径40×12, 40×16, 50×20及び65×20)



呼び径	d	d_2	d_4	L	参考
					計算質量(kg)
40×12	40	33	12	350	0.73
40×16	40	33	16	350	0.80
50×20	50	42	20	450	1.17
65×20	65	52	20	500	1.77

部品番号	部品名称	材料
4	締め輪	JIS H 5111のBC6
6	止め輪	
7	チップ結合金物	
8	チップ	JIS H 3100のC1100P
13	丸皿リベット	JIS H 3250のC1100BD
14	ガスケット	合成ゴム

付図4 国際陸上施設連結金物



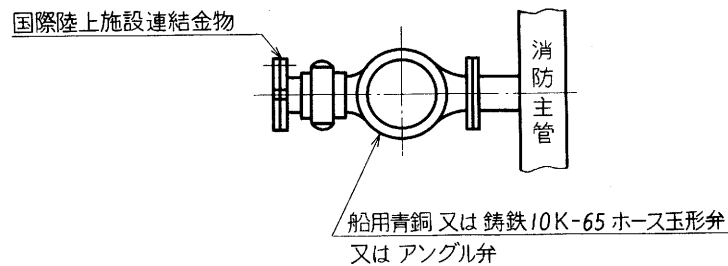
参考 計算質量6.96 kg

部品番号	部品名称	材料
1	元金物	JIS H 5111のBC6
2	元継手	
9	止め小ねじ	JIS H 3260のC2700W
14	ガスケット	合成ゴム
15	ガスケット	JIS F 7102の規定による。
21	閉止フランジ	JIS G 3101のSS400
22	六角ボルト	JIS F 7102の規定による。
23	六角ナット	
24	平座金	
25	ガスケット	JIS F 7102の規定による。

備考1. 部品番号の2, 9, 14及び15の寸法は、付図3の呼び径65のものと同じとする。

2. ねじは、JIS B 0205及びJIS B 0207の規定による。

参考 装備要領



船用ホース金物解説

この解説は、本体に規定した事柄、及びこれに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 制定の目的 船消防用のホース金物には、元海軍制式、戦時標準制式、臨時日本標準規格など種々の形式があり、また、掃除用などの蒸気、空気用のホース金物も形式が一定でなく多くの不便があったので、継手のはめ外しが容易で構造の確実なものに統一標準化する要望があり、この規格が作られた。

2. 制定・改正の経過及び改正の主旨

2.1 制定・改正の経過

制定・改正	原案作成団体又は会社	原案担当作業委員会	日本工業標準調査会 審議専門委員会	制定・改正年月日
1954年制定	三菱重工業株式会社 長崎造船所	日本船舶工業標準協会 機関部会西部地区委員会	機関設計専門委員会	昭和29年3月26日
(経過は省略)				
1989年改正	財団法人 日本船舶標準協会	財団法人 日本船舶標準協会 機関部会 配管ぎ装品委員会 (委員長 江口嘉昌)	船舶部会 (専門委員会の審議は省略)	平成元年6月15日
1996年 (今回)改正	同上	—	同上	平成8年12月25日

2.2 改正の要旨

2.2.1 1989年 単位及び数値を国際単位系(SI)とし、{ }を付けて従来単位及び数値を併記した。

なお、SIの導入(第2段階)に当たっては、フランジ、継手など他の配管系機器JISとの整合を図るため、換算値方式を採用し、かつ、{ }内の数値は規格値とした。ただし、その期間は、SIが第3段階へ移行するなど前記整合の理由が解消されるまでの間とする。

2.2.2 1996年(今回)

(1) 試験圧力をISO 5208(Industrial valves—Pressure testing of valves)に合わせて改正した。

(2) SI単位の導入(第3段階)によって、{ }内の従来単位及び数値を削除した。

また、SI化に合わせた規格値の調整を行い、これによって規格値が従来単位の換算値より2%程度増加した。

JIS 規格票の正誤票が発行された場合は、下記の要領でご案内いたします。

(1) 当協会発行の月刊誌「標準化ジャーナル」に、正・誤の内容を掲載いたします。

(2) 毎月第3火曜日に、「日経産業新聞」及び「日刊工業新聞」の JIS 発行の広告欄で、正誤票が発行された JIS 規格番号及び規格名称をお知らせいたします。

発行された正誤票をご希望の方は、下記(営業)へご連絡頂ければご送付いたします。

なお、当協会の JIS 予約者の方には、予約された部門で発行された正誤票は自動的に送付されます。

日本工業規格	船 用 ホ ー ス 金 物	定価 618 円 (本体 600 円)
--------	---------------	------------------------

平成 9 年 1 月 31 日 第 1 刷発行

編集兼
発行人 福原元一

発 行 所

財団法人 日 本 規 格 協 会

〒107 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24

電話 東京(03)3583-8071 (規格出版)

FAX 東京(03)3582-3372

電話 東京(03)3583-8002 (営 業)

FAX 東京(03)3583-0462

振替口座 00160-2-195146

札幌支部 ㊟060 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 札幌大同生命ビル内
電話 札幌(011)261-0045 FAX 札幌(011)221-4020
振替: 02760-7-4351

東北支部 ㊟980 仙台市青葉区本町 3 丁目 5-22 宮城県管工事会館内
電話 仙台(022)227-8336(代表) FAX 仙台(022)266-0905
振替: 02200-4-8166

名古屋支部 ㊟460 名古屋市中区栄 2 丁目 6-12 白川ビル内
電話 名古屋(052)221-8316(代表) FAX 名古屋(052)203-4806
振替: 00800-2-23283

関西支部 ㊟541 大阪市中央区本町 3 丁目 4-10 本町野村ビル内
電話 大阪(06)261-8086(代表) FAX 大阪(06)261-9114
振替: 00910-2-2636

広島支部 ㊟730 広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル内
電話 広島(082)221-7023,7035,7036 FAX 広島(082)223-7568
振替: 01340-9-9479

四国支部 ㊟760 高松市寿町 2 丁目 2-10 住友生命高松寿町ビル内
電話 高松(0878)21-7851 FAX 高松(0878)21-3261
振替: 01680-2-3359

福岡支部 ㊟810 福岡市中央区渡辺通り 2 丁目 1-82 電気ビル第 3 別館内
電話 福岡(092)761-4226 FAX 福岡(092)761-7466
振替: 01790-5-21632

三美印刷(株) 印刷・製本 Printed in Japan

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

Shipbuilding—Hose connections and fittings

JIS F 7335-1996

Revised 1996-12-25

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku

Tokyo, 107 JAPAN

Printed in Japan

定価 618 円(本体 600 円)